

沢野中央小学校 家庭学習の手引き

1. 家庭学習はなんのためにするのでしょうか

学習の
習慣化

毎日学習する習慣をつけるため。

定着

学校で習った勉強をしっかり身につけるため。特に、計算や漢字などの練習を繰り返し行い定着させる。

自立

自分のために自分で勉強できる子になるため。

家庭学習は、学校で学習したことをしっかり身につけるために、また、自ら学ぶ習慣をつけるためにとても大切なものです。学校でも、日々努力をしていますが、ご家庭と連携することで、より確かなものになると考えています。ご家庭のご理解とご協力をお願いします。

2. 家庭学習を通して育てたい児童の姿

- ①生活時間の有効な使い方を身につけた児童
- ②家庭学習の習慣や方法を身につけた児童
- ③基礎的・基本的な学習内容を身につけた児童

基礎的・基本的な学習内容とは？

学校で学習する内容（教科書ののっている内容）です。特に次のような学習内容は学年間でつながりを持っていますから、学習した学年で確実に身につけておかないと次の学年で困ってしまいます。

- 教科書に出ている程度の文章をすらすら読むこと
- 教科書に出ている漢字を読んだり、書いたりすること
- 教科書にでている程度の算数の問題を解くこと

3. 家庭学習の習慣づけのために

(1) 家庭学習の習慣（家庭学習のポイント）

- ①時間を決めて、毎日必ず学習する。
- ②学習するときはテレビを消してする。
- ③中学年以上は問題を解いた後「答え合わせ」まで

☆お家の方へ・・・家での声がけを大切に！

- ・お子さんがやりとげられるよう声をかけ、はげましてあげてください。
- ・できるだけ、お子さんが学習したことに目を通してあげてください。
- ・落ち着いた環境で学習できるよう、工夫してあげてください。

☆答え合わせをする意味

算数を例にとりましょう。すでに学校で学習した計算問題を家で復習することは大変意味のある学習です。しかし、それを答え合わせをしないで提出するのは、「やりっぱなし」で、学習を途中でやめてしまっていることになります。本当の学習は、自分で答え合わせをするところから始まります。

答え合わせをして

- ①合っていたところは、すでに身に付いているととらえます。
- ②間違えたところは『なぜ間違えたのかな？正しい答えは△△だ。では、どうすればその答えになるのかな？』と、もう一度間違えた問題に挑戦します。正解になるまでその問題を追及し、どうしてもわからなければ家の人や、次の日に先生に聞くという姿勢を持ちます。

間違えたところをそのままにしておかない習慣が、小学生のうちに確実に身につくことが大切だと考えています。

(2) 学年の発達段階による家庭学習に向かう姿

低学年	中学年	高学年
<ul style="list-style-type: none"> ・学校の宿題ができる。 ・宿題以外にも少しずつ自主的な学習ができる。 ・少しずつ自分で○つけができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の宿題が確実にできる。 ・宿題以外にも自主的な学習ができる。 ・自分で○つけができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で計画的に家庭学習(宿題+自主学習)に取り組むことができる。 ・自分の興味や必要に応じた学習ができる。 ・自分で○つけができる。

(3) 家庭学習の時間のめやす

学年×10分+10分以上（例えば6年生なら・・6×10+10=70分以上）

あくまでも最低のめやすです。休日や夏休みなどでは、1日に勉強する回数を2回にするなどして、さらに30～60分程度ふやせるといいでしょう。

(4) 家庭学習でやること（児童のノートにも、学年に応じた手引きがはってあります。）

国語	算数	社会・理科・生活・総合
<ul style="list-style-type: none"> ・漢字練習 ・視写 ・言葉の意味調べ ・日記 ・音読 ・テストの問題をもう一度解く 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書や算数ドリルの問題 ・計算練習 ・百マス計算 ・自分で作った問題を解く ・テストの問題をもう一度解く 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で学習したことをもう一度ノートにまとめる ・学校で学習したことに関係あることなどを調べる ・テストの問題をもう一度解く

(5) 生活の中で、見えない学力をつけよう

- ①読書をしよう。
- ②国語辞典・漢字辞典その他の事典や図鑑などを身近において調べる習慣をつけよう。
- ③日本地図、世界地図を身近において調べよう。
- ④ニュース番組を見て家族の話題にしよう。
- ⑤新聞を読もう。
- ⑥百人一首などの詩歌の暗唱をしてみよう。
- ⑦自然や生き物とふれあい、くわしく観察しよう。
- ⑧家の仕事を分担してお手伝いしよう。